

令和7年度 三重県高等学校フェンシング春季大会 実施要項

1. 主 催

三重県教育委員会・三重県高等学校体育連盟・三重県フェンシング協会

2. 後 援

三重県スポーツ協会

3. 期 日

令和7年4月26日(土)～27日(日)

4. 主 管

三重県高等学校体育連盟フェンシング専門部

5. 会 場

三重県立鳥羽高等学校 体育館 三重県鳥羽市安楽島 1459 TEL 0599-25-2935

6. 競技日程

4月26日(土) 7:30 開館・会場設営

8:00 最終コール

9:30 開会式

10:00 男女フルーレ個人対抗

※ フルーレ終了後にエペ・サーブルの個人対抗戦を始めます。

27日(日) 8:00 開館

9:00 男女フルーレ学校対抗

※ 日程は試合進行によって変更する場合があります。

7. 大会役員

理事長 福田 るり子

部長 服部 芳尚

委員長 日向 和義

技術委員長 松本 優

総務委員長 中川 佳代

総務委員 真弓 覚仁・杉谷 佳紀

審判長 辻 高明

審判委員 大野 幸太・日向 和義・松本 優・辻 高明・那須 茜・長嶋 柊司

その他、専門部が認めた者

補助員 県内高校フェンシング部員

会場責任者 那須 茜

8. 実施種目

男女個人対抗フルーレ・エペ・サーブル 男女学校対抗フルーレ

9. 試合規則

- ① 公益財団法人全国高等学校体育連盟フェンシング専門部試合規則を準用するが、一部三重県高等学校体育連盟フェンシング専門部のローカルルールを適用する。
- ② 事前の用具検査は行わないが、フルーレとエペにおいては剣のポイントの圧力の検査をピスト上で審判員が行う。
- ③ ポイントの圧力以外の試合用具の検査においては各校で行い、当日ピスト上で審判員が不適合と判断した場合は罰則の対象となる。

10. 競技方法

① 個人対抗

- i. 男女とも予選(プール戦)を行った後、エリミナシオンディレクトを行う。
- ii. 予選の組み合わせは、令和6年度の新人大会を参考にコール終了後に専門部で行い発表する。
- iii. 3位決定戦は実施しない

② 学校対抗

- i. プール戦で行う。なお、組み合わせについては、令和6年度の新人大会の男女
- ii. チーム編成は、監督1名と正選手4名の計5名とし、試合は5本勝負の5勝先取で行う。順位が確定するまでは9戦全て行うが、確定した後はチームが5勝した段階でその試合を打ち切ることがある。
- iii. ベンチ入りは、監督含めて5名までとする。

11. 引率・監督について

- ① 引率責任者は、校長の認める当該校の職員か県職員とする。
- ② 監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者である場合は損害・賠償責任保険に加入すること。

12. 参加資格

- ① 選手は、学校教育法第1条に規律する高等学校(中等教育後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
- ② 平成19年4月2日以降に生まれた者とする。
- ③ 出場は3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- ④ 学校対抗において、全日制過程、定時制課程、通信制過程の生徒による混成は認めない。
- ⑤ 統廃合の対象となる学校については、党外交を含む合同チームでの参加を認める。
- ⑥ 転校後6カ月未満の者の参加は認めない。ただし、一家転住などやむを得ない場合は、三重県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。

13. 表彰

- ① 個人対抗 各種別1～3位に賞状を授与する。
- ② 学校対抗 1位に賞状と優勝盾(持ち回り)、2・3位校には賞状を授与する。

14. 参加申し込み

- ① 参加申込書は、三重県高等学校体育連盟のホームページよりダウンロードし、必要事項の記入と校長印を押印のうえ当日参加費を添えて持参すること。また、申し込み書のExcelデータにて夏期メールアドレスに4月22日までに送ること。

専門部事務局メールアドレス fencing.mie@gmail.com

- ② 右側QRコードの申し込みフォームより個人対抗においては選手各自が4月22日までに申し込むこと。



15. 参加費

学校対抗 3,000 円/1 チーム 個人対抗 1,000 円/1 人

16. その他

① 大会参加に関して

- i. 競技中の疾病、傷害などの応急処置は原則各学校で行うこと。
- ii. 選手変更についてはエントリーした選手が怪我または病気により出場できなくなった場合は、開会式 48 時間前までに学校長の承認を得て専門部宛に専門部既定の様式にて書面で提出し承認を得ること。
- iii. 外部指導者が監督する場合は、複数校の監督を兼ねることはできない。

② 競技に関して

- i. 上下衣、ストッキングは必ず白色とすること。特に試合中に膝が出てこない長いもので、かつ厚いものを着用すること。また、企業名が入ったユニフォームは認めない。
- ii. 上衣の中には必ず半袖プロテクター（FIE）を着用し（FIE 公認ユニフォームでも着用のこと）、女子の選手は金属または硬い素材でできている胸当てを両胸に着用すること。（フルーレの選手はその上にソフトカバー着用）
- iii. 選手は頭髮に注意し、試合に支障のないようにすること。特に、頭髮がメタルジャケットの表面にかからないようにすること。
- iv. ゼッケンを図のように作成し、各自後ろ足膝の上、外側に必ずつけること。姓を男子は黒字、女子は赤字でピスト係が判別できるよう(太さ 1 cm 以上)に記入し、同一校に同性の者がいる場合は識別できるまで名をつけること。

姓
学校名

- v. ベンチの入場者は、当該種目監督及び登録選手とすること。
- vi. 外履き・内履きの靴は、競技会場・練習会場とも必ず区別すること。サンダルなどは許可しない。
- vii. 練習中はマスクなしでのファイティング・レッスンを禁止する。レッスンを行う際は袖付きのプロテクターを着用すること。袖なしプロテクターでレッスンを行う場合は必ず長袖のユニフォームを着用すること。
- viii. 剣で床を突かないこと。また、剣の曲がりを直す場合は備え付けのベニヤ板の上で行うこと。
- ix. エペのガードの内側のソケットにはブロックの中で 2 つの分離された穴がなければならない。従って、2 本のワイヤーがブロックの中を別々に通り、端末に繋がるようにすること。
- x. ボディーワイヤーには両端に接続プラグがついているが、この接続プラグは透明の素材で作られてなければならない。武器に装備された安全確保装置の欠如の場合は、安全確保装置がボディーワイヤーのプラグに装備されていること。